Mini ユーザ ガイド

改訂第 1 版：2008 年 12 月

製品番号：496745-292

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのデバイスでは使用できない場合があります。

『Mini ユーザ ガイド』の最新情報を入手するには、HP の Web サイト http://www.hp.com/support/にアクセスしてください。

安全に関するご注意

⚠ **警告！**　ユーザが火傷をしたり、デバイスが過熱状態になったりするおそれがありますので、デバイスを直接ひざの上に置いて使用したり、デバイスの通気孔をふさいだりしないでください。デバイスは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンタなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプタを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのデバイスおよび AC アダプタは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

目次

1　各部について

必要なハードウェアの確認

お使いのデバイスに付属のコンポーネントは、地域やモデルによって異なる場合があります。この章の図には、ほとんどのモデルに共通の機能が示されています。

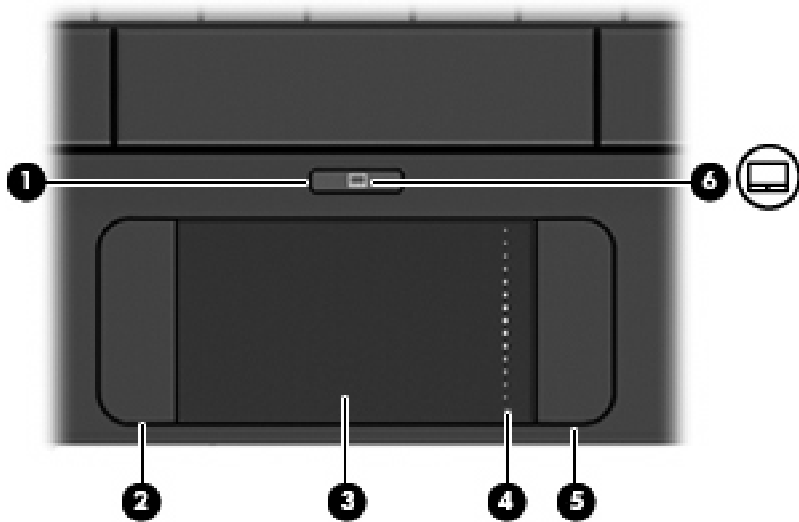
デバイスに取り付けられているハードウェアの一覧を参照するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
2. [システムのタスク]ウィンドウの左枠内で、**[システム情報を表示する]**を選択します。
3. **[ハードウェア]**タブ→**[デバイス マネージャ]**の順に選択します。

[デバイス マネージャ]を使用して、ハードウェアを追加したりデバイス設定を変更したりすることもできます。

表面の各部

タッチパッド

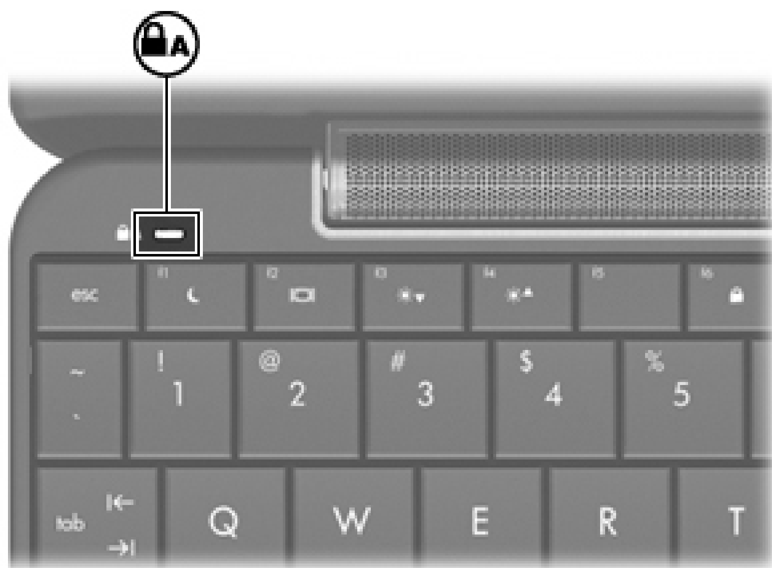


名称		説明
(1)	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドをオンまたはオフにします
(2)	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します

(3)		タッチパッド*	ポインタを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(4)		タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします
(5)		右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(6)		タッチパッド オン/オフ ランプ	• 白色：タッチパッドがオンになっています • オレンジ色：タッチパッドがオフになっています

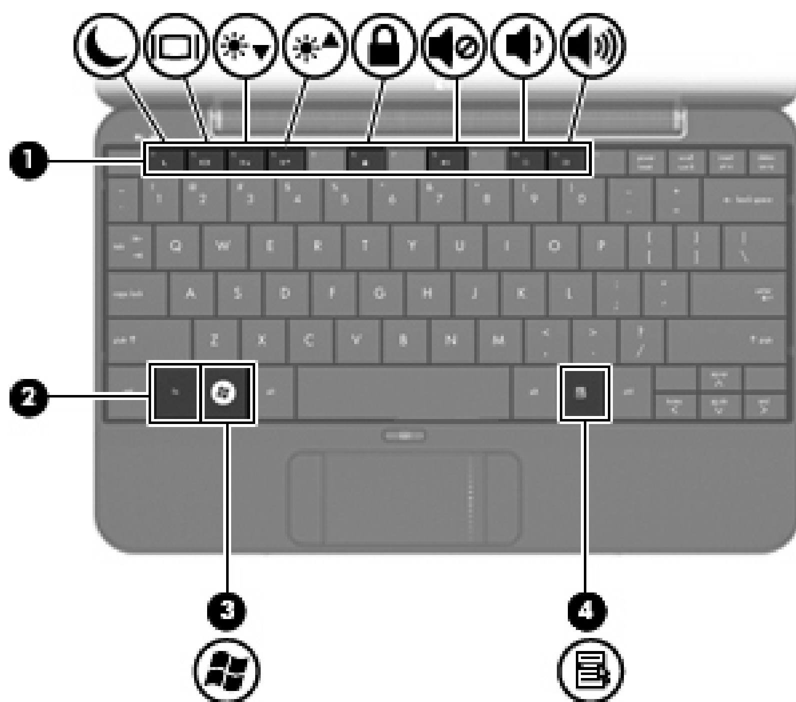
*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]**の順に選択します。

ランプ



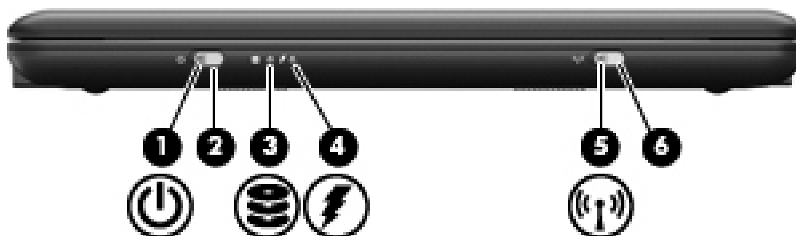
名称	説明
Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンの状態です

キー



名称			説明
(1)		ファンクション キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(2)		fn キー	ファンクション キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3)		Windows ロゴ キー	Windows®の[スタート]メニューを表示します
(4)		Windows アプリケーション キー	ポインタを置いた項目のショートカット メニューを表示します

前面の各部



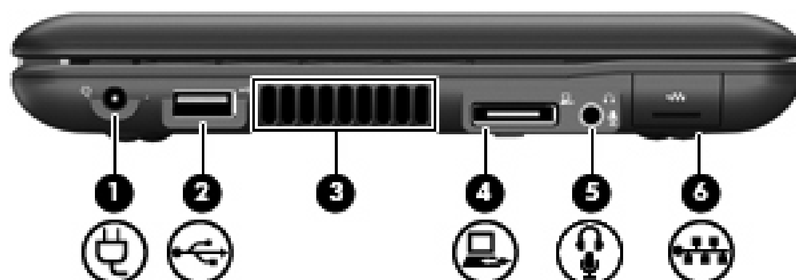
名称			説明
（1）		電源ランプ	● 点灯：デバイスの電源がオンになっています ● 点滅：デバイスがスタンバイ状態になっています ● 消灯：デバイスの電源が切れています
（2）		電源スイッチ	● デバイスの電源が切れているときにスライドさせると、電源が入ります ● デバイスの電源が入っているときに短くスライドさせると、ハイバネーションが起動します ● デバイスがスタンバイ状態のときに短くスライドさせると、スタンバイが終了します ● デバイスがハイバネーション状態のときに短くスライドさせると、ハイバネーションが終了します デバイスが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源スイッチを 5 秒程度スライドさせたままにすると、デバイスの電源が切れます 電源設定について詳しく調べるには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]**の順に選択します
（3）		ドライブ ランプ	点滅：ハードドライブまたはフラッシュ ドライブにアクセスしています
（4）		バッテリ ランプ	● 点灯：バッテリが充電中です ● 点滅：デバイスの電源としてバッテリのみを使用していて、ロー バッテリ状態になっています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます ● 消灯：デバイスが外部電源に接続されている場合、デバイスに装着されているすべてのバッテリが完全に充電されると、このランプは消灯します。デバイスが外部電源に接続されていない場合は、ロー バッテリ状態になるまでランプは消灯したままです
（5）		無線ランプ	● 青色：無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています ● オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています
（6）		無線スイッチ	無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は確立されません 注記： 無線接続を確立するには、無線ネットワークがすでにセットアップされている必要があります

右側面の各部



名称			説明
(1)		通気孔	デバイス内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：** 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、デバイスのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(2)		SD カード リーダー	以下のフォーマットの別売のメディア カードに対応しています • マルチメディア カード（MMC） • Secure Digital（SD）メモリ カード
(3)		USB コネクタ	別売の USB デバイスを接続します
(4)		HP モバイル ドライブ スロット（一部のモデルのみ）	別売の HP ミニ モバイル ドライブを接続します
(5)		セキュリティ ロック ケーブル用コネクタ	別売のセキュリティ ロック ケーブルをデバイスに接続します **注記：** セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、デバイスの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません

左側面の各部



名称			説明
(1)		電源コネクタ	AC アダプタを接続します

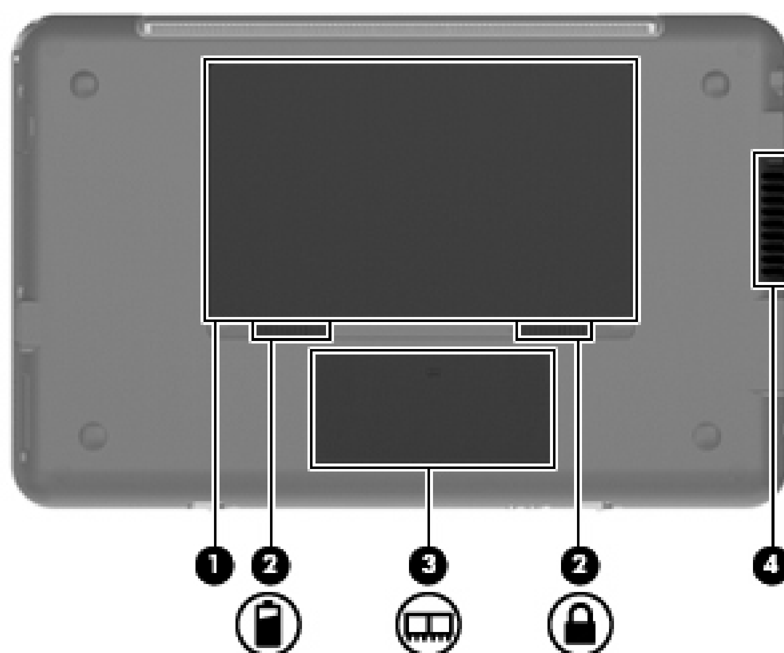
名称			説明
(2)		USB コネクタ	別売の USB デバイスを接続します
(3)		通気孔	デバイス内部の温度が上がりすぎないように空気を通します **注記：**　内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、デバイスのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(4)		拡張ポート	外部 VGA モニタまたはプロジェクタを接続できる別売の VGA ケーブルを接続します
(5)		オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ/オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します。別売のヘッドセット マイクも接続します **警告！**　突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください **注記：**　コネクタに別売のデバイスを接続すると、デバイス本体のスピーカは無効になります
(6)		RJ-45（ネットワーク）コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します

ディスプレイの各部



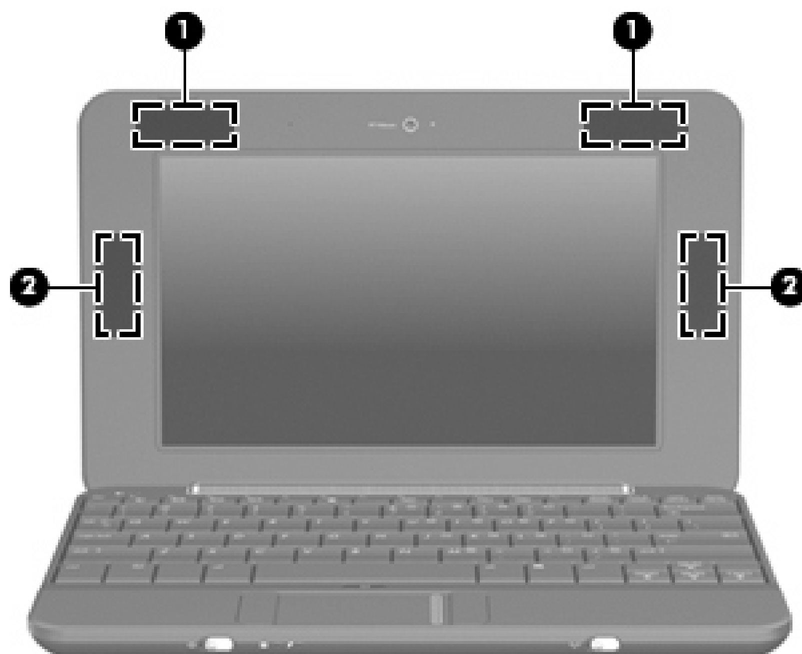
名称		説明
(1)	内蔵ディスプレイ スイッチ	デバイスの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れます
(2)	スピーカ（×2）	サウンドを出力します
(3)	内蔵マイク	サウンドを録音および記録します
(4)	Web カメラ	静止画像を撮影したり、動画を録画したりします 注記： 動画を録画するには、Web カメラ ソフトウェアを追加インストールする必要があります
(5)	Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています

裏面の各部



名称			説明
(1)		バッテリ ベイ	バッテリが装着されています
(2)		バッテリ リリース ラッチ（×2）	バッテリ ベイからバッテリを取り外します
(3)		メモリ モジュール コンパートメント	メモリ モジュール スロットがあります
(4)		通気孔	デバイス内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、デバイスのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です

無線アンテナ



名称		説明
(1)	無線 LAN アンテナ（×2）*	無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）で通信する無線信号を送受信します
(2)	無線 WAN アンテナ（×2）（一部のモデルのみ）*	無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）で通信する無線信号を送受信します
*アンテナはデバイスの外側からは見えません。最適な転送のため、アンテナ周囲には障害物を置かないでください		

お住まいの地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの注意事項を表示するには、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**→**[ユーザ ガイド]**の順に選択します。

その他のハードウェア コンポーネント



名称		説明
(1)	電源コード*	AC アダプタを電源コンセントに接続します
(2)	AC アダプタ	AC 電源を DC 電源に変換します
(3)	バッテリ*	デバイスが外部電源に接続されていないときに、デバイスに電力を供給します
*バッテリおよび電源コードの外観は国や地域によって異なります。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属していた電源コードをお使いください。付属していた電源コードは、他の製品では使用できません。		

ラベルの確認

デバイスに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、デバイスを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- 以下の情報を含む重要な情報が記載されています。



  ◦ (1) 製品名：デバイスの前面に貼付されている製品名です。

  ◦ (2) シリアル番号（s/n）：各製品に一意の英数字 ID です。

  ◦ (3) 製品番号（p/n）：製品のハードウェア コンポーネントに関する特定の情報を示します。製品番号は、サービス担当者が必要なコンポーネントおよび部品を確認する場合に役立ちます。

  ◦ (4) モデルの記載：お使いのデバイスに関するドキュメント、ドライバ、サポート情報を得るときに使用します。

  ◦ (5) 保証期間：このデバイスの標準保証期間が（年数で）記載されています。

  これらの情報は、サポート窓口に問い合わせるときに必要です。サービス タグ ラベルは、デバイスの裏面に貼付されています。

- Microsoft® Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。このラベルは、デバイスの裏面に貼付されています。

- 規定ラベル：デバイスの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、デバイスの裏面に貼付されています。

- 無線認定/認証ラベル：オプションの無線デバイスに関する情報、および認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。オプションのデバイスは、無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス、HP ブロードバンド無線モジュール、Bluetooth®デバイスなどです。1 つ以上の無線デバイスを使用している機種には、1 つ以上の認定ラベルが貼付されてい

ます。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルは、デバイスの裏面に貼付されています。

- HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベル（一部のモデルのみ）: HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が記載されています。このラベルは、デバイスの裏面にあります。

2 電源の管理

電源オプションの設定

省電力設定の使用

お使いのデバイスでは、2 つの省電力設定が出荷時に有効になっています。スタンバイおよびハイバネーションです。

スタンバイを起動すると、電源ランプが点滅して画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されます。スタンバイを終了するときはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。デバイスが長時間スタンバイ状態になった場合、またはスタンバイ状態のときにバッテリが完全なロー バッテリ状態になった場合は、ハイバネーションを起動します。

ハイバネーションを起動すると、データがハードドライブのハイバネーション ファイルに保存されて、デバイスの電源が切れます。

△ **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、またはデータの損失を防ぐため、ディスクや外付けメディア カードの読み取りまたは書き込み中にスタンバイやハイバネーションを起動しないでください。

注記： デバイスがスタンバイまたはハイバネーション状態の場合は、ネットワーク接続やデバイス機能の実行が一切できなくなります。

スタンバイの起動および終了

システムは、バッテリ電源の使用時に操作しない状態が 10 分続いた場合、外部電源の使用時に操作しない状態が 25 分続いた場合に、スタンバイを起動するように出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]にある[電源オプション]で変更できます。

デバイスの電源が入っている状態で、以下のどれかの方法でスタンバイを起動できます。

- fn + f1 キーを押します。
- **[スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]**の順にクリックします。

スタンバイを終了するには、次の操作を行います。

▲ 電源スイッチを短くスライドさせます。

スタンバイを終了すると、電源ランプが点灯し、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。

注記： デバイスがスタンバイを終了するときにパスワードの入力を必要とするように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションの起動および終了

システムは、バッテリ電源の使用時に操作しない状態が 30 分続いた場合、または完全なロー バッテリ状態に達した場合に、ハイバネーションを起動するように出荷時に設定されています。

注記： 外部電源の使用時には、ハイバネーションは起動されません。

注記： データの損失を防ぐため、作業データを定期的に保存してください。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]を使用して変更できます

ハイバネーションを起動するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[終了オプション]**の順に選択します。
2. shift キーを押しながら**[休止状態]**を選択します。

または

▲ デバイスの電源が入っている場合は、電源スイッチを短くスライドさせます。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

▲ 電源スイッチを短くスライドさせます。

電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

注記： ハイバネーションを終了するときにパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

電源設定の使用

電源設定は、デバイスの電源の使用方法を管理するための、システム設定の集合です。電源設定によって、電力を節約し、デバイスのパフォーマンスを最大限に向上させることができます。

以下の電源設定を利用できます。

- ポータブル/ラップトップ（推奨）
- 自宅または会社のデスク
- プレゼンテーション
- 常にオン
- 最小の電源管理
- バッテリの最大利用

これらの電源プランの設定は[電源オプション]で変更できます。

現在の設定の表示

▲ タスクバーの右端にある通知領域の**[電源メーター]**アイコンをクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

異なる電源設定の選択

▲ タスクバーの右端にある通知領域の**[電源メーター]**アイコンをクリックし、一覧から電源設定を選択します。

または

a. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**の順に選択します。

b. **[電源設定]**リストから電源設定を選択します。

c. **[OK]**をクリックします。

電源設定のカスタマイズ

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**の順に選択します。
2. **[電源設定]**リストから電源設定を選択します。
3. **[電源に接続]**および**[バッテリ使用]**の設定を必要に応じて変更します。
4. **[OK]**をクリックします。

スタンバイ終了時のパスワード保護の設定

スタンバイの終了時にパスワードの入力を要求するようにデバイスを設定するには、以下の操作を行います。

1. 通知領域の**[電源メーター]**アイコンを右クリックし、**[電源プロパティの調整]**をクリックします。
2. **[詳細設定]**タブをクリックします。
3. **[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]**チェック ボックスにチェックを入れます。
4. **[適用]**をクリックします。

外部電源の使用

外部電源は、以下のどちらかのデバイスを通じて供給されます。

⚠ **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、デバイスを使用する場合は、デバイスに付属している AC アダプタ、HP が提供する交換用 AC アダプタ、または HP から購入した対応する AC アダプタを使用してください。

- 認定された AC アダプタ
- 別売のドッキング デバイスまたは別売の拡張製品

次のどれかの条件にあてはまる場合はデバイスを外部電源に接続してください。

⚠ **警告！** 航空機内でデバイスのバッテリを充電しないでください。

- バッテリを充電またはバッテリ ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- CD または DVD に情報を書き込む場合

デバイスを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリの充電が始まります。
- デバイスの電源が入ると、通知領域の[バッテリ メーター]アイコンの表示が変わります。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- デバイスの電源がバッテリに切り替わります。
- バッテリ電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、fn ＋ f4 ホットキーを押すか、AC アダプタを接続しなおします。

AC アダプタの接続

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

外部電源からデバイスへの電力供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをデバイスからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプタを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

デバイスを外部電源に接続するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプタをデバイスの電源コネクタに差し込みます（**1**）。
2. 電源コードを AC アダプタに接続します（**2**）。
3. 電源コードのもう一方の端を電源コンセントに接続します（**3**）。



バッテリ電源の使用

充電済みのバッテリが装着され、外部電源に接続されていない場合、デバイスはバッテリ電源で動作します。外部電源に接続されている場合、デバイスは外部電源で動作します。

充電済みのバッテリを装着したデバイスが AC アダプタから電力が供給される外部電源で動作している場合、AC アダプタを取り外すと、電源がバッテリ電源に切り替わります。

注記： 外部電源の接続を外すと、バッテリ電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、fn ＋ f4 ホットキーを使用するか、AC アダプタを再接続します。

作業環境に応じて、バッテリをデバイスに装着しておくことも、ケースに保管しておくことも可能です。デバイスを外部電源に接続している間、常にバッテリを装着しておけば、バッテリは充電されていて、停電した場合でも作業データを守ることができます。ただし、バッテリをデバイスに装着したままにしておくと、デバイスを外部電源に接続していない場合は、デバイスがオフのときでもバッテリは徐々に放電していきます。

警告！ 安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、デバイスに付属しているバッテリ、HP が提供する交換用バッテリ、または HP から購入した対応するバッテリを使用してください。

デバイスのバッテリは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、デバイスで動作しているプログラム、画面の輝度、デバイスに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

バッテリ充電残量の表示

▲ タスクバーの右端にある通知領域の**[電源メーター]**アイコンをダブルクリックします。

-または-

[スタート]→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**→**[電源メーター]**タブの順に選択します。

ほとんどの場合、充電情報には、バッテリの状態がバッテリ残量のパーセントと残りの使用可能時間（分）で示されます。

- パーセントは、バッテリの電力の推定残量を示します。
- 時間は、**現在のレベルでバッテリの電力を使い続けた場合**にバッテリを使用できる推定残り時間を示します。たとえば、DVD が再生すると残り時間が短くなり、停止すると残り時間が長くなります。

バッテリの充電中に、[電源メーター]画面のバッテリ アイコンの上に稲妻の形のアイコンが重なって表示される場合があります。

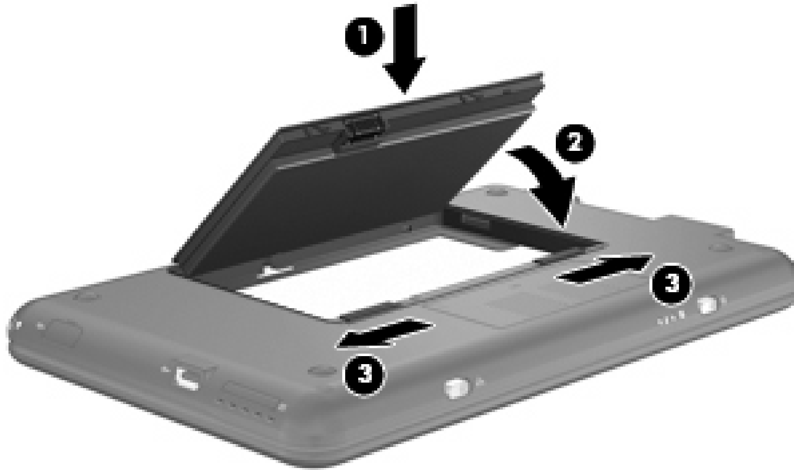
バッテリの着脱

注意： デバイスの電源としてバッテリのみを使用しているときにそのバッテリを取り外すと、データが失われる可能性があります。バッテリを取り外す場合は、データの損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを起動するかオペレーティング システムの通常の手順でデバイスをシャットダウンしておいてください。

バッテリを装着するには、以下の操作を行います。

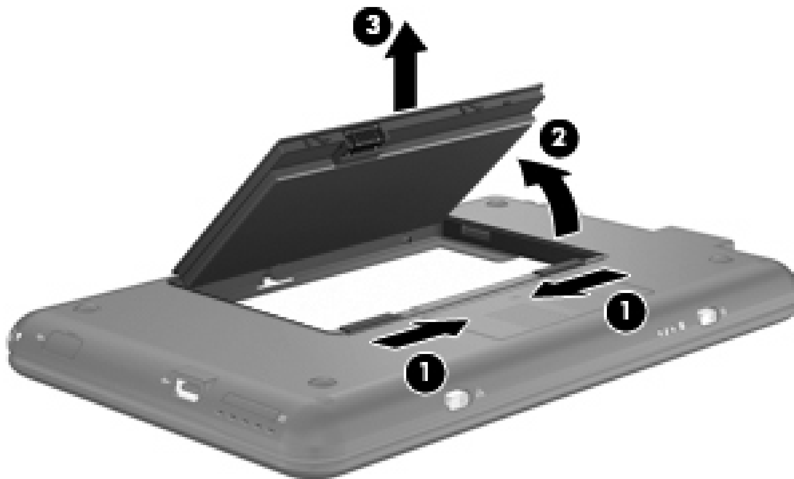
1. すべての外付けデバイスを取り外します。
2. デバイスが外部電源に接続されている場合は、電源コンセントから電源コードを抜きます。
3. デバイスを裏返して安定した平らな場所に置きます。
4. バッテリをバッテリ ベイに挿入し（**1**）、しっかりと収まるまで下向きに回転させるようにして取り付けます（**2**）。

   バッテリが装着されると、バッテリ リリース ラッチ（**3**）が自動的に固定されます。



バッテリを取り外すには、以下の操作を行います。

1. すべての外付けデバイスを取り外します。
2. デバイスが外部電源に接続されている場合は、電源コンセントから電源コードを抜きます。
3. デバイスを裏返して安定した平らな場所に置きます。
4. バッテリ リリース ラッチをスライドさせて（**1**）、バッテリの固定を解除します。
5. バッテリを回転させるようにして引き上げて（**2**）、デバイスから取り外します（**3**）。



バッテリの充電

⚠ **警告！** 航空機内でデバイスのバッテリを充電しないでください。

デバイスを外部電源（AC アダプタ経由）、別売の電源アダプタ、別売のドッキング デバイス、または別売の拡張製品に接続すると、バッテリの充電が開始されます。

バッテリはデバイスの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリの寿命を延ばし、バッテリ残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリを充電する場合は、デバイスの電源を入れる前にバッテリを完全に充電してください。
- バッテリ ランプが消灯するまでバッテリを充電してください。

注記： デバイスの電源が入っている状態でバッテリを充電すると、バッテリが完全に充電される前に通知領域のバッテリ メーターに 100％と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5 パーセント未満になるまでバッテリを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリは、充電ではなくバッテリ ゲージの調整を行います。

バッテリ ランプに以下のように充電状態が表示されます。

- 点灯：バッテリが充電中です。
- 点滅：デバイスの電源としてバッテリのみを使用していて、ロー バッテリ状態になっています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます。
- 消灯：バッテリの充電が完了しているか、バッテリを使用中か、バッテリが装着されていない状態です。

バッテリの放電時間の最長化

バッテリの放電時間は、バッテリ電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリの容量は自然に低下するため、バッテリの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリの放電時間を長く保つには以下の点に注意してください。

- 画面の輝度を下げます。
- バッテリが使用されていないときまたは充電されていないときは、デバイスからバッテリを取り外します。
- バッテリを気温や湿度の低い場所に保管します。

ロー バッテリ状態への対処

ここでは、出荷時設定の警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリ状態の警告とシステム応答の設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]ウィンドウでの設定は、ランプの状態には影響しません。

ロー バッテリ状態の確認

デバイスの電源としてバッテリのみを使用しているときにバッテリがロー バッテリ状態になると、バッテリ ランプが点滅します。

ロー バッテリ状態を解決しないと完全なロー バッテリ状態に入り、バッテリ ランプがすばやく点滅します。

完全なロー バッテリの状態になった場合、デバイスでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが有効で、デバイスの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、ハイバネーションが起動します。
- ハイバネーションが無効で、デバイスの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、短い時間スタンバイ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリ状態の解決

△ **注意：** データの損失を防ぐため、デバイスが完全なロー バッテリ状態になってハイバネーションが起動した場合は、電源ランプが消灯するまで電源を入れないでください。

外部電源を使用できる場合のロー バッテリ状態の解決

▲ 以下のデバイスのどれかを接続します。

- デバイスに付属の AC アダプタ
- 別売の拡張製品またはドッキング デバイス
- 別売の電源アダプタ

充電済みのバッテリを使用できる場合のロー バッテリ状態の解決

1. デバイスの電源を切るか、ハイバネーションを起動します。
2. 放電したバッテリを取り外し、充電済みのバッテリを装着します。
3. デバイスの電源を入れます。

電源を使用できない場合のロー バッテリ状態の解決

▲ ハイバネーションを起動します。

または

作業中のデータを保存してデバイスをシャットダウンします。

ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリ状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がデバイスに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. 充電済みのバッテリを装着するか、デバイスを外部電源に接続します。
2. 電源スイッチを短くスライドさせてハイバネーションを終了します。

バッテリ ゲージの調整

バッテリ ゲージの調整は、以下の場合に必要です。

- バッテリ充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリの通常の動作時間が極端に変化した場合

バッテリを頻繁に使用している場合でも、1 か月に 2 回以上バッテリ ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリを初めて使用する前にバッテリ ゲージを調整する必要はありません。

手順 1：バッテリを完全に充電する

⚠ **警告！** 航空機内でデバイスのバッテリを充電しないでください。

注記： バッテリはデバイスの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリを完全に充電するには、以下の操作を行います。

1. デバイスにバッテリを装着します。
2. デバイスを AC アダプタ、別売の電源アダプタ、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続し、その別売アダプタまたは別売デバイスを外部電源に接続します。

   デバイスのバッテリ ランプが点灯します。
3. バッテリが完全に充電されるまで、デバイスを外部電源に接続しておきます。

   充電が完了すると、デバイスのバッテリ ランプが消灯します。

手順 2：ハイバネーションおよびスタンバイを無効にする

1. タスクバーの右端にある通知領域の**[電源メーター]**アイコンを右クリックし、**[電源プロパティの調整]**をクリックします。

   または

   [スタート]→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**の順に選択します。
2. バッテリ ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[バッテリ使用]列と[電源に接続]列の 4 つの設定をメモしておきます。
3. これら 4 つのオプションをすべて**[なし]**に設定します。
4. **[OK]**をクリックします。

手順 3：バッテリを放電する

バッテリの放電中は、デバイスの電源を入れたままにしておく必要があります。バッテリは、デバイスを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が早く放電が完了します。

- 放電中にデバイスを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にデバイスを使用する予定で、省電力設定を利用している場合、放電処理中はシステムの動作が以下のようになります。
  - モニタは自動的にオフになりません。
  - デバイスがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度は自動的に低下しません。
  - システムによるハイバネーションは起動されません。

バッテリを放電するには、以下の操作を行います。

1. デバイスを外部電源から切り離します。ただし、デバイスの電源は**切らない**でください。
2. バッテリが放電するまで、バッテリ電源でデバイスを動作させます。バッテリの放電が進んでロー バッテリ状態になると、バッテリ ランプが点滅し始めます。バッテリが放電すると、バッテリ ランプが消灯して、デバイスの電源が切れます。

手順 4：バッテリを完全に再充電する

バッテリを再充電するには、以下の操作を行います。

1. デバイスを外部電源に接続して、バッテリが完全に再充電されるまで接続したままにします。再充電が完了すると、デバイスのバッテリ ランプが消灯します。

   バッテリの再充電中でもデバイスは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。

2. デバイスの電源を切っていた場合は、バッテリが完全に充電されてバッテリ ランプが消灯した後で、デバイスの電源を入れます。

手順 5： ハイバネーションおよびスタンバイを再び有効にする

△ 注意： バッテリ ゲージの調整後にハイバネーションを有効にしないと、デバイスが完全なロー バッテリ状態になった場合、バッテリが完全に放電して情報が失われるおそれがあります。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]**の順に選択します。
2. **[電源に接続]**列と**[バッテリ使用]**列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
3. **[OK]**をクリックします。

バッテリの節電

- Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で消費電力設定を選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続および LAN 接続をオフにし、モデムを使用するアプリケーションは使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをデバイス本体から取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、fn ＋ f3 および fn ＋ f4 ホットキーを使用します。
- しばらく作業を行わないときは、スタンバイまたはハイバネーションを起動するか、デバイスの電源を切ります。

バッテリの保管

△ 注意： 故障の原因となりますので、バッテリを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2 週間以上デバイスを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリの放電を抑えるには、バッテリを気温や湿度の低い場所に保管してください。

1 か月以上保管したバッテリを使用するときは、最初にバッテリ ゲージの調整を行ってください。

使用済みバッテリの処理

⚠ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、バッテリを分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、バッテリの接点をショートさせたり、バッテリを火や水の中に捨てたりしないでください。さらに、60℃（140°F）より高温の環境に放置しないでください。バッテリを交換する場合は、このデバイスでの使用が認定されているバッテリのみを使用してください。

バッテリの廃棄については、『規定、安全および環境に関するご注意』を参照してください。

デバイスのシャットダウン

△ **注意：** デバイスをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびデバイスの電源を切ります。

以下の場合は、デバイスをシャットダウンします。

- バッテリを交換したりデバイス内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB コネクタに接続しない外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- デバイスを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

デバイスをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

注記： デバイスがスタンバイまたはハイバネーション状態の場合、シャットダウンするにはまずスタンバイまたはハイバネーションを終了する必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. **[スタート]**→**[終了オプション]**→**[電源を切る]**の順に選択します。

デバイスが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、記載されている順に以下の緊急手順を試みてください。

- ctrl+alt+delete キーを押します。次に、**[シャットダウン]**→**[電源を切る]**または**[コンピュータの電源を切る]**の順にクリックします。
- 電源スイッチを 5 秒程度スライドさせたままにします。
- デバイスを外部電源から切断し、バッテリを取り外します。

3　インターネット

お使いのデバイスは、以下の種類のインターネット アクセスに対応しています。

- 有線：RJ-45（ネットワーク）コネクタを使用してブロードバンド ネットワークに接続することで、インターネットにアクセスできます。
- 無線：モバイル インターネット接続には、無線接続を使用できます。無線ネットワークのセットアップまたは既存のネットワークへのデバイスの追加については、「無線ネットワークへの接続」を参照してください。

有線ネットワークへの接続

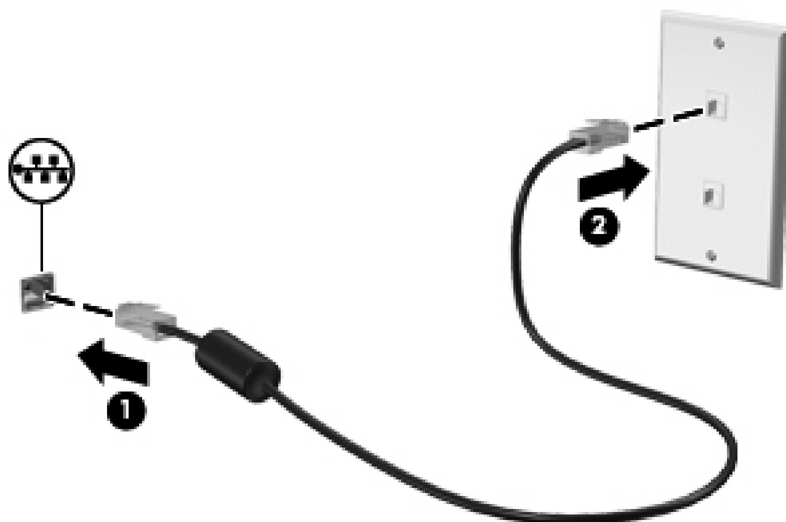
ローカル エリア ネットワーク（LAN）に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブル（別売）が必要です。ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア（**1**）が取り付けられている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端（**2**）をデバイス側に向けます。



ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

⚠ **警告！** 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

1. ネットワーク ケーブルをデバイス本体のネットワーク コネクタに差し込みます（**1**）。
2. ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラ コンセントに差し込みます（**2**）。



無線ネットワークへの接続

無線デバイスの使用

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたデバイスには、以下の無線デバイスが 1 つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学など）で、デバイスを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、各モバイル無線デバイスは無線ルータまたは無線アクセス ポイントと通信します。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール（一部のモデルのみ）：モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこでも情報にアクセスできる、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。無線 WAN では、各モバイル デバイスはモバイル ネットワーク事業者の基地局と通信します。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）のネットワークを設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。

デバイスは、以下の IEEE 業界標準に対応しています。

- 802.11b：最初に普及した規格であり、最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。
- 802.11g：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。802.11g の無線 LAN デバイスは下位の 802.11b デバイスに対応しており、両方を同じネットワークで使用できます。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報と Web サイトへのリンクを参照してください。

無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認

アイコン	名前	説明
	無線（接続済み）	デバイスのハードウェアとしての無線ランプおよび無線スイッチの位置を示します。1 つ以上の無線デバイスが有効になっていることも示します
	無線（切断済み）	すべての無線デバイスが無効になっていることを示します
	無線ネットワーク接続（接続済み）	1 つ以上の無線 LAN デバイスがネットワークに接続されていることを示します
	無線ネットワーク接続（切断済み）	1 つ以上の無線 LAN デバイスがネットワークに接続されていないことを示します

	ネットワーク ステータス（接続済み）	1 つ以上の LAN ドライバがインストールされていて、1 つ以上の LAN デバイスがネットワークに接続されていることを示します
	ネットワーク ステータス（切断済み）	1 つ以上の LAN ドライバがインストールされているが、どの LAN デバイスもネットワークに接続されていないことを示します

無線コントロールの使用

以下の機能を使用して、デバイス本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線スイッチ
- オペレーティング システムの制御機能

無線スイッチの使用

デバイスには無線スイッチ、1 つ以上の無線デバイス、1 つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、デバイス本体のすべての無線デバイスは有効になっていて、デバイスの電源を入れると青い無線ランプが点灯します。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。青い無線ランプが点灯している場合は、1 つ以上の無線デバイスが有効になっていることを示しています。無線ランプがオレンジ色の場合は、すべての無線デバイスが無効になっていることを示しています。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、すべての無線デバイスのオンとオフの切り替えを無線スイッチで同時に行うことができます。

[HP Connection Manager]ソフトウェアの使用

[HP Connection Manager]を使用すると、インターネット プロファイル、SMS（ショート メッセージ サービス）のメッセージング機能、および接続デバイスと接続方式を管理したり、その他の設定を編集したりすることができます。

▲ [HP Connection Manager]を開くには、タスクバーの右端にある通知領域の**[HP Connection Manager]**アイコンをクリックします。

注記： [HP Connection Manager]の使用方法について詳しくは、[HP Connection Manager]のヘルプを参照してください。

[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）

無線デバイスは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用してオンとオフを切り替えることができます。無線デバイスが[Computer Setup]によって無効になっている場合、そのデバイスのオンとオフを[HP Wireless Assistant]を使用して切り替えるには、[Computer Setup]を使用して再び有効にする必要があります。

注記： 無線デバイスを有効にしても（オンにしても）、デバイスがネットワークまたは Bluetooth 対応デバイスに自動的に接続されるわけではありません。

無線デバイスの状態を表示するには、タスクバーの右端の通知領域にある無線アイコンの上にマウス ポインタを置きます。

注記： 無線アイコンを表示するには、通知領域の**[隠れているインジケータを表示します]**アイコン（**[<]**または**[<<]**）をクリックします。

[無線]アイコンが通知領域に表示されていない場合、以下の手順に沿って[HP Wireless Assistant]のプロパティを変更します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット接続]**→**[HP Wireless Assistant]**の順に選択します。
2. **[プロパティ]**をクリックします。
3. 通知領域の**[Wireless Assistant]**アイコンの横のチェック ボックスにチェックを入れます。
4. **[適用]**をクリックします。

詳しくは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

1. 通知領域にあるアイコンをダブルクリックして[HP Wireless Assistant]を起動します。
2. **[ヘルプ]**ボタンをクリックします。

無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルータまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のデバイスおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）にアクセスできます。

注記： 無線ルータと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業無線 LAN や公共無線 LAN などの大規模無線 LAN では通常、多数のデバイスや周辺機器に対応できる無線アクセス ポイントを使用することによって、重要なネットワーク機能を他のサービスから切り離すことができます。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルータを使用して、複数台の無線接続または有線接続のデバイスでインターネット接続、プリンタ、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

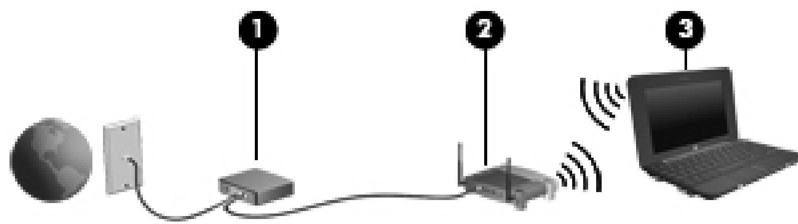
お使いのデバイスに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）（**1**）およびインターネット サービス プロバイダ（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルータ（別売）（**2**）
- 無線デバイス（**3**）

下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークの設置例を示しています。



お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のデバイスをネットワークに追加することができます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルータの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線 LAN の保護

無線 LAN の標準仕様に備わっているセキュリティ機能は限られていて、基本的には大規模な攻撃ではなく簡単な盗聴を防ぐための機能しかありません。そのため、無線 LAN には、既知でよく確認されているセキュリティの脆弱性があると認識しておくことが大切です。

「無線 LAN スポット」と呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。公共の場でのセキュリティと匿名性を高める新しい技術は、無線デバイスの製造元や無線 LAN スポットのサービス プロバイダによって開発されている段階です。無線 LAN スポットを利用するときにデバイスのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、重要でない電子メールや基本的なネット サーフィン程度にとどめておいてください。

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。一般的なセキュリティ レベルは、WPA（Wi-Fi Protected Access）-Personal と WEP（Wired Equivalent Privacy）です。無線信号はネットワークの外に出てしまうため、他の無線 LAN デバイスに保護されていない信号を拾われ、（許可しない状態で）ネットワークに接続されたり、ネットワークでやり取りされる情報を取得されたりする可能性があります。ただし、事前に対策を取ることで無線 LAN を保護できます。

- **セキュリティ機能内蔵の無線トランスミッタを使用する**

  無線基地局、ゲートウェイ、またはルータといったトランスミッタの多くには、無線セキュリティ プロトコルやファイアウォールといったセキュリティ機能が内蔵されています。適切な無線トランスミッタを使用すれば、無線セキュリティでの最も一般的なリスクからネットワークを保護できます。

- **ファイアウォールを利用する**

  ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄する防御壁です。利用できるファイアウォールにはさまざまな種類があり、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせて使用します。

- **無線を暗号化する**

  さまざまな種類の高度な暗号プロトコルが、無線 LAN ネットワークで利用できます。お使いのネットワークのセキュリティにとって最適な解決策を、以下の中から探してください。

  ◦ **WEP（Wired Equivalent Privacy）**は、すべてのネットワーク データを送信される前に WEP キーで符号化または暗号化する無線セキュリティ プロトコルです。通常は、ネットワーク側が割り当てた WEP キーを使用できます。また、自分でキーを設定したり、異なる

キーを生成したり、他の高度なオプションを選んだりすることもできます。正しいキーを持たない他のユーザが無線 LAN を使用することはできなくなります。

◦ **WPA**（**Wi-Fi Protected Access**）は、WEP と同じように、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化と復号化を行います。ただし、WEP のように 1 つの決められたセキュリティ キーを利用して暗号化を行うのではなく、「TKIP」（temporal key integrity protocol）を使用してパケットごとに新しいキーを動的に生成します。また、ネットワーク上にあるデバイスごとに異なるキーのセットを生成します。

- **ネットワークを閉じる**

  可能であれば、ネットワーク名（SSID）が無線トランスミッタによってブロードキャスト（送信）されないようにします。ほとんどのネットワークは、最初にネットワーク名をブロードキャスト（送信）して、利用可能であることを近くのデバイスに伝えます。ネットワークを閉じれば、お使いのデバイスの存在が他のデバイスから知られにくくなります。

注記：　ネットワークを閉じて SSID がブロードキャスト（送信）されないようにした場合、新しいデバイスをネットワークに接続するには、その SSID を知っているか覚えていることが必要になります。SSID を書き留めて、許可のない人の目にふれない安全な場所に保管してから、ネットワークを閉じるようにしてください。

無線 LAN への接続

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。オンになっている場合は、無線ランプが青色に点灯します。無線ランプがオレンジ色の場合は、無線スイッチをスライドさせます。
2. **[スタート]**→**[接続先]**の順に選択します。
3. 一覧から目的の無線 LAN を選択し、必要に応じてネットワーク セキュリティ キーを入力します。
   - ネットワークのセキュリティ設定がされていない場合は、誰でもこのネットワークにアクセスできるため、警告メッセージが表示されます。警告メッセージを確認し、接続を完了するには、**[接続]**をクリックします。
   - ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードであるネットワーク セキュリティ キーの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、**[接続]**をクリックして接続を完了します。

   注記：　無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルータまたはアクセス ポイントの範囲外にいることになります。

   注記：　接続したいネットワークが表示されない場合は、**[接続またはネットワークをセットアップします]**をクリックします。オプションの一覧が表示されます。手動での検索や、ネットワークへの接続、新しいネットワーク接続の作成などのオプションを選択できます。
4. 接続完了後、タスクバー右端の通知領域にある無線ネットワーク接続アイコンの上にマウス ポインタを置くと、接続の名前、速度、強度、およびステータスを確認できます。

注記：　動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の実装、ルータの製造元、およびその他の電子機器ならびに壁や床からの干渉に応じて異なります。

無線 LAN の使用方法について詳しくは、以下のリソースを参照してください。

- インターネット サービス プロバイダ（ISP）から提供される情報や、無線ルータやその他の無線 LAN 機器に添付されている説明書等
- **[ヘルプとサポート]**で提供されている情報や、そこにある Web サイトのリンク

近くにある公共無線 LAN の一覧については、ISP に問い合わせるか Web を検索してください。公共無線 LAN の一覧を掲載している Web サイトは、「ホットスポット」などのキーワードで検索できます。それぞれの公共無線 LAN の場所について、費用と接続要件を確認します。

他のネットワークへのローミング

お使いのデバイスを他の無線 LAN が届く範囲に移動すると、Windows はそのネットワークへの接続を試みます。接続の試行が成功すると、お使いのデバイスは自動的にそのネットワークに接続されます。新しいネットワークが Windows によって認識されなかった場合は、お使いの無線 LAN に接続するために最初に行った操作をもう一度実行してください。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンドは無線ワイド エリア ネットワーク（WWAN）を使用するため、無線 LAN の使用時よりも、より多くの場所のより広い範囲からインターネットにアクセスできます。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダ（モバイル ネットワーク事業者とも呼ばれます）と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいるときでも、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

HP は、2 つのテクノロジを提供しています。

- HSDPA（High Speed Downlink Packet Access）は、GSM（Global System for Mobile Communications）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。
- EV-DO（Evolution Data Optimized）は、CDMA（Code Division Multiple Access）電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。

HP モバイル ブロードバンドについて詳しくは、HP の Web サイト、http://www.hp.com/go/mobilebroadband/（英語サイト）を参照してください。

Bluetooth 無線デバイス（一部のモデルのみ）

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、次のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- デバイス（デスクトップ、ノートブック、PDA）
- 電話機（携帯、コードレス、スマート フォン）
- イメージング デバイス（プリンタ、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカ）

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN（Personal Area Network）を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth オンライン ヘルプを参照してください。

Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）

ホストとして 1 台のデバイスに Bluetooth を設定し、そのデバイスをゲートウェイとして利用して他のデバイスがインターネットに接続できるようにすることは、HP ではおすすめしません。Bluetooth を使用して 2 台以上のデバイスを接続する場合、インターネット接続共有（ICS）が可能なのはそのうちの 1 台で、他のデバイスは Bluetooth ネットワークを利用してインターネットに接続することはできません。

Bluetooth は、お使いのデバイスと、携帯電話、プリンタ、カメラ、および PDA などの無線デバイスとの間で情報をやり取りして同期するような場合に強みを発揮します。Bluetooth および Windows オペレーティング システムでの制約によって、インターネット共有のために複数台のデバイスを Bluetooth 経由で常時接続しておくことはできません。

4　マルチメディア

マルチメディア機能

お使いのデバイスには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

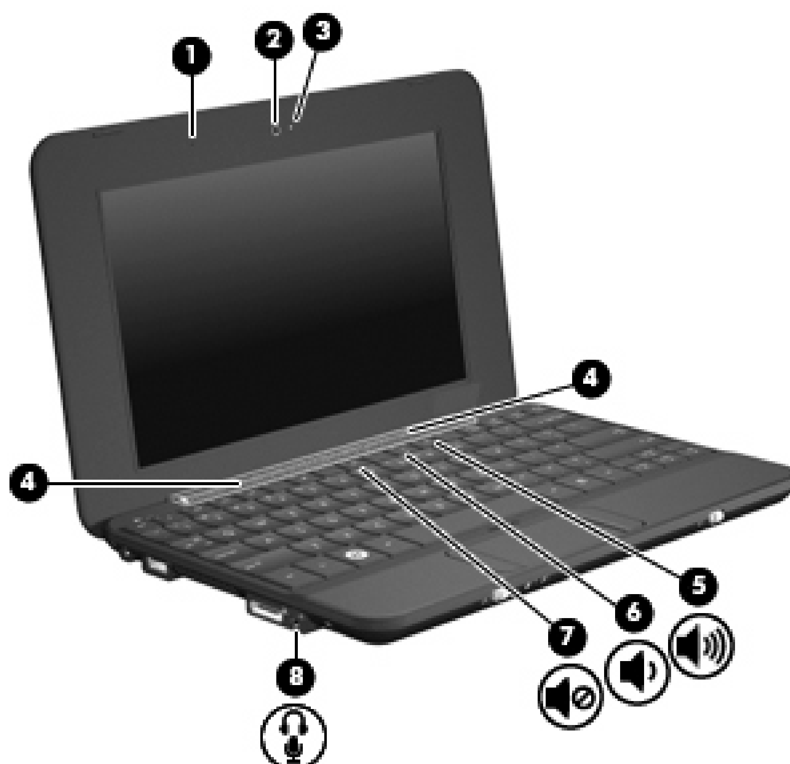
- 音楽を再生する内蔵スピーカ
- 写真および動画を撮影できる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア

注記： お使いのデバイスによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのデバイスに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの確認

以下の図と表で、デバイスのマルチメディア機能について説明します。

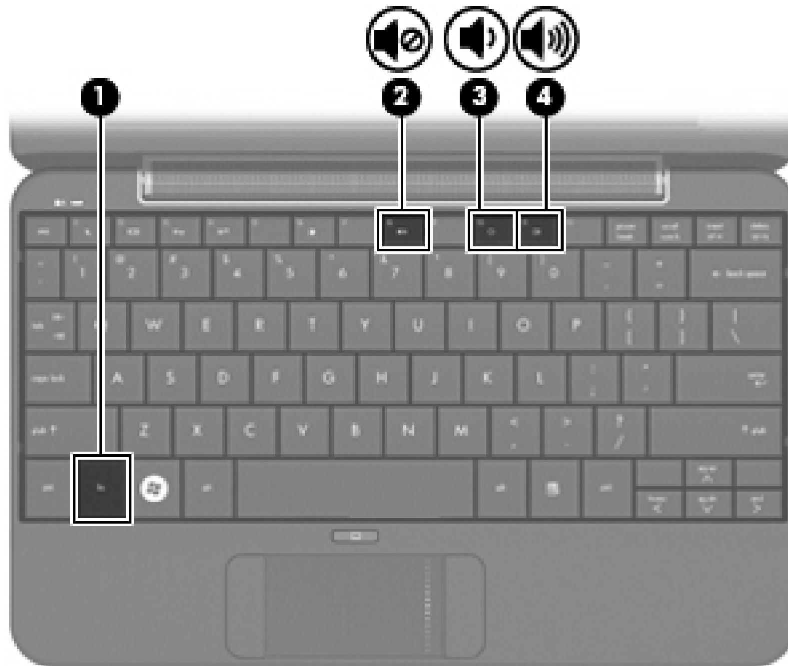


名称			説明
(1)		内蔵マイク	サウンドを録音および記録します
(2)		Web カメラ	静止画像を撮影したり、動画を録画したりします **注記：** 動画を録画するには、Web カメラ ソフトウェアを追加インストールする必要があります
(3)		Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています
(4)		スピーカ（×2）	サウンドを出力します
(5)		音量上げホットキー	fn キーと組み合わせて押すことによって、デバイスの音量を上げます
(6)		音量下げホットキー	fn キーと組み合わせて押すことによって、デバイスの音量を下げます
(7)		ミュート ホットキー	fn キーと組み合わせて押すことによって、デバイスの音を消します
(8)		オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ/オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します。別売のヘッドセット マイクも接続します **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください **注記：** コネクタに別売のデバイスを接続すると、デバイス本体のスピーカは無効になります

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- デバイスの音量ホットキー：fn キー（**1**）と、f8（**2**）、f10（**3**）、f11（**4**）のどれかのファンクション キーとの組み合わせです。
  - 音を消したり音量を元に戻したりするには、fn ＋ f8 を押します。
  - 音量を下げるには、fn ＋ f10 を押します。
  - 音量を上げるには、fn ＋ f11 を押します。



- Windows の[ボリューム コントロール]：
  a. タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。
  b. 音量を調節するには、スライダを上下に移動します。**[ミュート]**チェック ボックスにチェックを入れると、音が出なくなります。

  または

  a. 通知領域の**[音量]**アイコンをダブルクリックします。
  b. **[ボリューム コントロール]**列で音量を調整するには、スライダを上下に移動します。バランスの調整やミュートを行うこともできます。

[音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順に沿って表示します。

a. **[スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]→[音量]**タブの順に選択します。

b. **[タスクバーに音量アイコンを配置する]**チェック ボックスにチェックを入れます。

c. **[適用]**をクリックします。

- プログラムの音量調整機能：

  プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

マルチメディア ソフトウェア

お使いのデバイスには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]（一部のモデルのみ）を使用する場合は、**[Windows Media Player]**をクリックします。

注記： プログラムによってはサブフォルダに含まれているものもあります。

インターネットからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

▲ インターネットからマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、ソフトウェアの製造元の Web サイトにアクセスし、説明に沿って操作します。

注記： インターネットからダウンロードしたソフトウェアにはウィルスが含まれている可能性があります。詳しくは、「セキュリティ」の章を参照してください。

オーディオ

お使いのデバイスでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- デバイスのスピーカおよび接続した外付けスピーカを使用した、音楽の再生
- 別売のヘッドセット マイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信

外付けオーディオ デバイスの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカ、ヘッドフォン、ヘッドセット マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのデバイスの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、デバイスの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバがある場合は、そのドライバをインストールします。

注記： ドライバは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバータとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのデバイスのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]**の順に選択します。
2. [サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム イベント]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、矢印ボタンをクリックしてサウンドをチェックします。

   スピーカまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

デバイスの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[サウンド レコーダー]**の順に選択します。
2. [録音]ボタンをクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. マルチメディア プログラムを開き、サウンドを再生します。

注記： 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

▲ デバイスのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の**[音量]**アイコンを右クリックするか、**[スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]**の順に選択します。

動画

お使いのデバイスでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

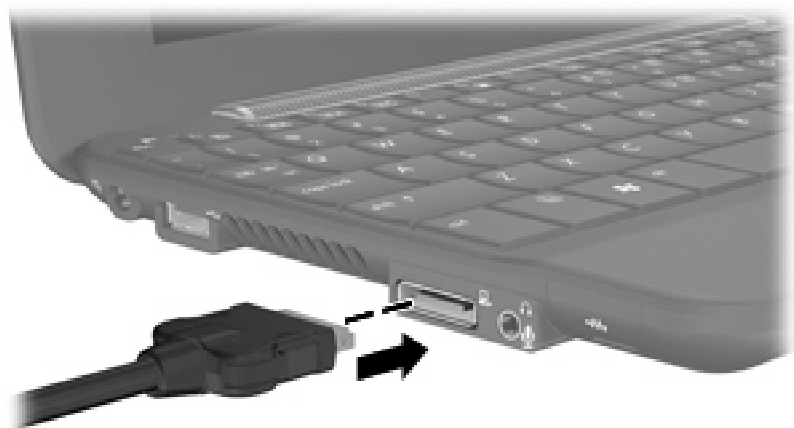
- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーション作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニタまたはプロジェクタの接続

モニタやプロジェクタなどの外付けディスプレイは、VGA ケーブル（別売）を使用してデバイスの拡張ポートに接続します。

外付けモニタまたはプロジェクタを接続するには、以下の操作を行います。

1. 別売の VGA ケーブルをデバイスの拡張ポートに接続します。



2. ケーブルのもう一方の端を外付けモニタまたはプロジェクタに接続します。

注記： 正しく接続された外付けモニタまたはプロジェクタの画面に画像が表示されない場合は、fn ＋ f2 キーを押して画像をその外付けディスプレイに転送します。fn ＋ f2 を繰り返し押すと、表示画面が外付けディスプレイとデバイスとの間で切り替わります。

Web カメラ

お使いのデバイスには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラは、静止画像および動画の撮影を可能にする入力デバイスです。

注記： 動画を録画するには、Web カメラ ソフトウェアを追加インストールする必要があります。

Web カメラにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順にクリックし、カメラのアイコンをダブルクリックします。
2. 画像を撮影するには、**[Take a new picture]**（新しい画像の撮影）をクリックします。

   注記： 画像は[マイ ドキュメント]フォルダに自動的に保存されます。

5 セキュリティ

デバイスの保護

Windows オペレーティング システムおよび Windows 以外のセットアップ ユーティリティによって提供される標準のセキュリティ機能により、個人設定およびデータをさまざまなリスクから保護できます。

この章に記載されている手順を実行して、以下の機能を使用します。

- パスワード
- ファイアウォール ソフトウェア
- 緊急セキュリティ アップデート

注記： セキュリティ ソリューションは、抑止効果を発揮することを目的として設計されていますが、ソフトウェアによる攻撃、またはデバイスの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

注記： デバイスをサポートあてに送付する場合は、事前にすべてのパスワード設定を削除してください。

デバイスでの危険性	セキュリティ機能
デバイスの不正使用	● QuickLock ● 電源投入時パスワード
データへの不正アクセス	● ファイアウォール ソフトウェア ● [Windows Updates]
セットアップ ユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正アクセス	管理者パスワード
デバイスへの現在または将来の脅威	Microsoft からの緊急セキュリティ アップデート
Windows ユーザ アカウントへの不正アクセス	ユーザ パスワード

パスワードの使用

パスワードは、デバイス情報を保護するために選択した文字グループです。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは、Windows やセット アップ ユーティリティ（Windows が起動する前に機能する、プリインストールされたユーティリティ）で設定できます。

△ **注意：** デバイスがロックされないように、設定したパスワードをすべて書き留めてください。ほとんどのパスワードは設定、変更、削除するときに表示されないため、パスワードをすぐに書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管する必要があります。

セットアップ ユーティリティ機能と Windows セキュリティ機能の両方で同じパスワードを使用できます。複数のセットアップ ユーティリティ機能で同じパスワードを使用できます。

セットアップ ユーティリティでパスワードを設定するときは、以下のガイドラインに従ってください。

- パスワードは、最長 8 文字まで英数字を組み合わせて指定できます。また、大文字と小文字は区別されます。
- セットアップ ユーティリティで設定するパスワードは、セットアップ ユーティリティのプロンプトで入力する必要があります。Windows に設定されるパスワードは、Windows プロンプトで入力する必要があります。

パスワードを作成したり保存したりする時は、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- パスワードを書き留めておき、デバイスから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管する
- パスワードをデバイス上のファイルに保存しない
- 部外者が簡単に知ることができる名前などの個人情報を使用しない

以下の項目では、Windows のパスワードおよびセットアップ ユーティリティのパスワードのそれぞれの機能について説明します。スクリーン セーバのパスワードなど、Windows のパスワードについては、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択してください。

Windows でのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード	管理者レベルのデータへのアクセスを保護します **注記：** このパスワードは、セットアップ ユーティリティのデータへのアクセスには使用できません
ユーザ パスワード	Windows ユーザ アカウントへのアクセスを保護します。デバイスのデータへのアクセスも保護します。スタンバイまたはハイバネーションを終了するときにはこのパスワードを入力する必要があります
QuickLock	デバイスにアクセスする前に Windows の[ログオン]ダイアログ ボックスにパスワードを入力するように要求することにより、デバイスを保護します。ユーザまたは管理者パスワードを設定した後は、以下の操作を行います **1.** fn ＋ f6 キーを押して[QuickLock]を起動します **2.** Windows のユーザ パスワードまたは管理者パスワードを入力して[QuickLock]を終了します

セットアップ ユーティリティでのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード*	● セットアップ ユーティリティへのアクセスを保護します ● パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります 注意： 管理者パスワードを忘れると、セットアップ ユーティリティにアクセスできなくなります
電源投入時パスワード*	● デバイスのデータへのアクセスを保護します ● パスワード設定後は、デバイスの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります 注意： 電源投入時パスワードを忘れると、デバイスの電源を入れることも、再起動も、ハイバネーションの終了もできなくなります
*各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください	

管理者パスワード

管理者パスワードを設定すると、セットアップ ユーティリティのコンフィギュレーション設定とシステム識別情報が保護されます。パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります。

その管理者パスワードは、Windows で設定した管理者パスワードで置き換えができず、設定、入力、変更、または削除時に表示されません。必ずパスワードを書き留め、他人の目に触れない安全な場所に保管してください。

管理者パスワードの管理

パスワードを設定、変更および削除するには、以下の操作を行います。

1. デバイスを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[f10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ設定）→**[Set Administrator Password]**（管理者パスワードの設定）の順に選択し、enter キーを押します。
   - 管理者パスワードを設定するには、**[Enter New Password]**（新しいパスワードの入力）および**[Confirm New Password]**フィールドにパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 管理者パスワードを変更するには、**[Enter Current Password]**（現在のパスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]**（新しいパスワードの入力）および**[Confirm New Password]**フィールドに新しいパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 管理者パスワードを削除するには、**[Enter Password]**（パスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、enter キーを 4 回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択します。

変更した内容は、次回デバイスを起動したときに有効になります。

管理者パスワードの入力

[Enter Password]（パスワードの入力）画面が表示されたら、管理者パスワードを入力して enter キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、デバイスを再起動して管理者パスワードを入力しなおす必要があります。

電源投入時パスワード

電源投入時パスワードは、デバイスが不正に使用されることを防ぎます。パスワード設定後は、デバイスの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります。電源投入時パスワードは、設定、入力、変更、または削除する場合に表示されません。

電源投入時パスワードの管理

パスワードを設定、変更および削除するには、以下の操作を行います。

1. デバイスを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[f10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ設定）→**[Set Power-On Password]**（電源投入時パスワードの設定）の順に選択し、enter キーを押します。
   - 電源投入時パスワードを設定するには、**[Enter New Password]**（新しいパスワードの入力）および**[Confirm New Password]**（新しいパスワードの確認）フィールドにパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 電源投入時パスワードを変更するには**[Enter Current Password]**（現在のパスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]**および**[Confirm New Password]**フィールドに新しいパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 電源投入時パスワードを削除するには、**[Enter Current Password]**フィールドに現在のパスワードを入力し、enter キーを 4 回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択します。

変更した内容は、次回デバイスを起動したときに有効になります。

電源投入時パスワードの入力

[Enter Password]（パスワードの入力）画面が表示されたらパスワードを入力して enter キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、デバイスを再起動して電源投入時パスワードを入力しなおす必要があります。

ウィルス対策ソフトウェアの使用

デバイスで電子メールを使用したり、インターネットに接続したりする場合、デバイスがコンピュータ ウィルスの危険にさらされます。コンピュータ ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、アプリケーション、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

注記： ウィルス対策ソフトウェアをインストールしてデバイスを保護することをおすすめします。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すると、既知のウィルスを検出および駆除したり、多くの場合はウィルスの被害にあった箇所を修復したりできます。新しく発見されたウィルスからデバイスを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

注記： コンピュータ ウィルスについてさらに詳しく調べるには、[ヘルプとサポート]の[検索]フィールドに「ウィルス」と入力します。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

デバイスで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、第三者がデバイスや個人用ファイルにアクセスしたり、使用者に関する情報を不正に取得してしまう可能性があります。プライバシを保護するため、デバイスにプリインストールされているファイアウォール ソフトウェアを使用してください。

ネットワーク処理のログおよびレポート情報や、自動アラームなどのファイアウォール機能を使用して、デバイスでの送受信の流れを監視します。詳しくは、ファイアウォールの説明書を参照するか、ファイアウォールの製造元に問い合わせてください。

注記： 特定の状況下では、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を永久に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

緊急アップデートのインストール

△ **注意：** Microsoft 社は、緊急アップデートに関する通知を配信しています。お使いのデバイスをセキュリティの侵害やデバイス ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン緊急アップデートをインストールしてください。

オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、デバイスの工場出荷後にリリースされている可能性があります。すべての使用可能なアップデートが確実にデバイスにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- デバイスのセットアップが完了したら、できる限りすぐに[Windows Update]を実行します。**[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]**の順に選択すると表示されるアップデートリンクを使用します。
- [Windows Update]は、1 か月に 1 回など、一定期間ごとに実行してください。
- Window およびその他の Microsoft のプログラムのアップデートがリリースされるたびに、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

6 メディア カード

別売のメディア カードは、データを安全に格納し、簡単にデータを共有できるカードです。これらのカードは、他のデバイス以外にも、デジタル メディア対応のカメラや PDA などでよく使用されます。

お使いのデバイスの SD カード リーダーは、以下のフォーマットに対応しています。

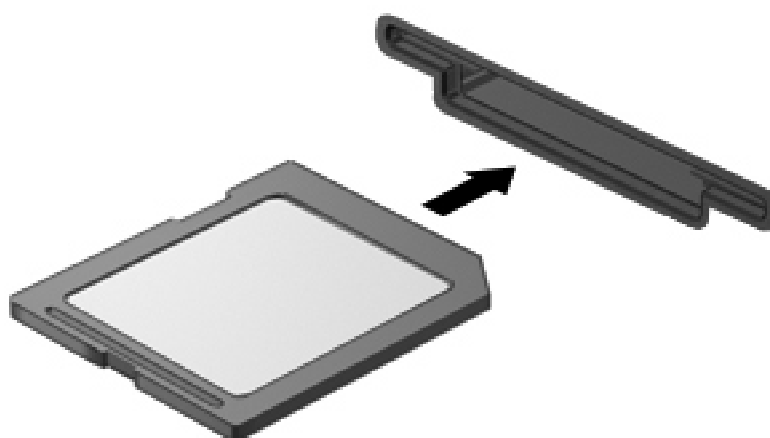
- マルチメディア カード（MMC）
- Secure Digital（SD）メモリ カード

メディア カードの挿入

△ **注意：** SD カードおよびデバイスの損傷を防ぐため、SD カード スロットには、どのような種類のアダプタも挿入しないでください。

注意： メディア カード コネクタの損傷を防ぐため、メディア カードの挿入時に必要以上の力を加えないでください。

1. メディア カードのラベルを上にし、コネクタをデバイス側に向けて持ちます。
2. カードを SD カード リーダーに挿入し、しっかり収まるまでカードを押し込みます。



デバイスが検出されると音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

メディア カードの停止および取り出し

△ 注意： データの消失やシステムの応答停止を防ぐため、メディア カードを取り出す前にカードを停止してください。

1. 情報を保存し、メディア カードに関連するすべてのプログラムを閉じます。

   注記： データ転送を停止するには、オペレーティング システムの[コピーしています]ウィンドウで**[キャンセル]**をクリックします。

2. メディア カードを停止します。

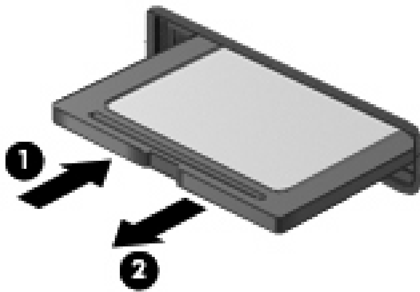
   a. タスクバーの右端にある通知領域の**[ハードウェアの安全な取り外し]**アイコンをダブルクリックします。

      注記： [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域の**[隠れているインジケータを表示します]**アイコン（**[<]**または**[<<]**）をクリックします。

   b. 一覧からメディア カード名をクリックします。

   c. **[停止]**をクリックし、**[OK]**をクリックします。

3. メディアカードを押して固定を解除し（**1**）、カードを引いてスロットから取り出します（**2**）。



7 USB デバイス

USB デバイスの使用

USB（Universal Serial Bus）は、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンタ、スキャナ、ハブなどの別売の外付けデバイスを接続するためのハードウェア インタフェースです。デバイスは、システム、別売のドッキング デバイス、または別売の拡張製品に接続することができます。

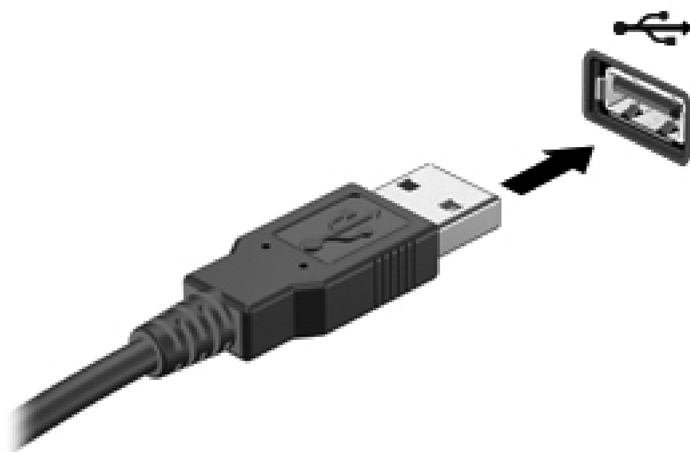
USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについて詳しくは、デバイスに付属の操作説明書を参照してください。

デバイスには 2 つの USB コネクタがあり、USB 1.0、USB 1.1、および USB 2.0 の各デバイスに対応しています。モデルによっては、別売の HP ミニ モバイル ドライブをサポートする HP モバイル ドライブ スロットが装備されている場合もあります。 別売の USB ハブ、別売のドッキング デバイス、または別売の拡張製品には、デバイスで使用できる USB コネクタが装備されています。

USB デバイスの接続

△ **注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスの接続時に必要以上の力を加えないでください。

▲ USB デバイスを接続するには、USB デバイスの USB ケーブルを USB コネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

注記： USB デバイスを接続すると、通知領域にシステムがデバイスを認識したことを示すメッセージが表示されます。

USB デバイスの停止および取り外し

△ **注意：** データの損失やシステムの応答停止を防ぐため、USB デバイスを取り外すときは、まずデバイスを停止してください。

注意： USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスの取り外し時にケーブルを引っ張らないでください。

USB デバイスの停止および取り外しを行うには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端にある通知領域の**[ハードウェアの安全な取り外し]**アイコンをダブルクリックします。

   注記： [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域の**[隠れているインジケータを表示します]**アイコン（**[<]**または**[<<]**）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

   注記： 一覧に表示されない USB デバイスを取り外す場合、デバイスを停止する必要はありません。

3. **[停止]**をクリックし、次に**[OK]**をクリックします。
4. デバイスを取り外します。

HP モバイル ドライブ スロットの使用（一部のモデルのみ）

HP モバイル ドライブ スロットは、デバイスにストレージを追加できるようにする USB コネクタです。HP モバイル ドライブ スロットは、HP ミニ モバイル ドライブ（別売）と組み合わせる場合にのみ使用できます。

HP ミニ モバイル ドライブの挿入

▲ HP ミニ モバイル ドライブを HP モバイル ドライブ スロットに挿入し、HP ミニ モバイル ドライブがしっかりと装着されてデバイスの外側と同一面に収まるようになるまで押し込みます。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

注記： USB デバイスを接続すると、タスクバーの右端にある通知領域に、システムがデバイスを認識したことを示すメッセージが表示されます。

HP ミニ モバイル ドライブの停止および取り外し

△ 注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐために、HP ミニ モバイル ドライブを取り出す前にデバイスを停止します。

HP ミニ モバイル ドライブを停止および取り外すには、以下の操作を行います。

1. 通知領域にある**[ハードウェアの安全な取り外し]**アイコンをダブルクリックします。

   注記： [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域の**[隠れているインジケータを表示します]**アイコン（**[<]**または**[<<]**）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。
3. **[停止]**→**[OK]**の順にクリックします。
4. HP ミニ モバイル ドライブを取り外します。



8　ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインタ オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[プリンタとその他のハードウェア]**→**[マウス]**の順に選択します。

ポインティング デバイスの使用

タッチパッドの使用

タッチパッドのボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記： ポインタの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

外付けマウスの接続

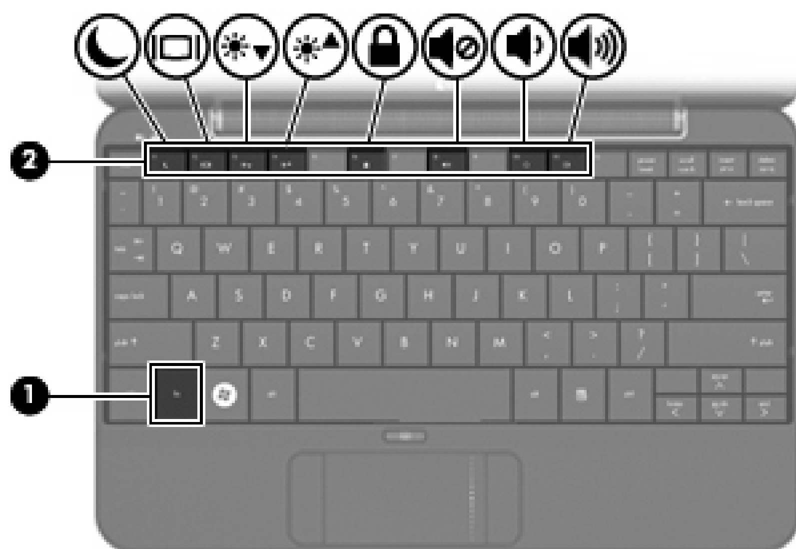
USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをデバイスに接続できます。

キーボードの使用

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（**1**）とファンクション キー（**2**）のうち 1 つとの組み合わせです。

f1 ～ f4、f6、f8、f10、および f11 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表しています。ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。



機能	ホットキー
スタンバイを起動する	fn + f1
画面を切り替える	fn + f2
画面輝度を下げる	fn + f3
画面輝度を上げる	fn + f4
[QuickLock]を起動する	fn + f6
デバイスの音を消す	fn + f8
デバイスの音量を下げる	fn + f10
デバイスの音量を上げる	fn + f11

ホットキー コマンドをデバイスのキーボードで使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- fn キーを短く押し、次にホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながらホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押した後、両方のキーを同時に離します。

スタンバイを起動する（fn + f1）

スタンバイを起動するには、fn + f1 を押します。

スタンバイが起動すると、情報がメモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。デバイスがスタンバイ状態の間は、電源ランプが点滅します。

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、スタンバイを起動する前に必ずデータを保存してください。

スタンバイを起動する前に、デバイスの電源がオンになっている必要があります。

注記： デバイスがスタンバイ状態のときに完全なロー バッテリ状態になった場合は、ハイバネーションが起動し、メモリに保存された情報がハードドライブに保存されます。完全なロー バッテリ状態になった場合、工場出荷時設定ではハイバネーションが起動しますが、この設定は電源の詳細設定で変更できます。

スタンバイを終了するには、電源スイッチを短くスライドさせます。

fn + f1 ホットキーの機能は変更することができます。たとえば、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように fn + f1 ホットキーを設定することもできます。

注記： Windows オペレーティング システムのウィンドウでの**スリープ ボタン**に関する記述はすべて、fn + f1 ホットキーに当てはまります。

画面を切り替える（fn + f2）

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn + f2 を押します。たとえば、デバイスに外付けモニタを接続している場合に fn + f2 を押すと、デバイス本体のディスプレイ、外付けモニタのディスプレイ、デバイス本体と外付けモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外付け VGA ビデオ方式を使用してデバイスからビデオ情報を受け取ります。fn + f2 ホットキーでは、デバイスからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が fn + f2 ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（デバイス本体のディスプレイ）
- 外付け VGA（ほとんどの外付けモニタ）

画面の輝度を下げる（fn + f3）

fn + f3 を押すと、画面の輝度が下がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。

画面の輝度を上げる（fn + f4）

fn + f4 を押すと、画面の輝度が上がります。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

[QuickLock]の開始（fn + f6）

[QuickLock]セキュリティ機能を開始するには、fn + f6 を押します。

[QuickLock]はオペレーティング システムの[ログオン]ウィンドウを表示して、情報を保護します。[ログオン]ウィンドウが表示されているときには、Windows のユーザ パスワードまたは Windows の管理者パスワードが入力されるまでデバイスにアクセスできません。

注記： [QuickLock]を使用する前に、Windows のユーザ パスワード、または Windows の管理者パスワードを設定する必要があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

[QuickLock]を使用するには、fn + f6 キーを押して[ログオン]ウィンドウを表示し、デバイスをロックします。デバイスにアクセスするには、画面の説明に沿って Windows のユーザ パスワードまたは Windows の管理者パスワードを入力します。

スピーカの音を消す（fn + f8）

fn + f8 を押してスピーカの音を消します。スピーカの音量を元に戻すには、もう一度ホットキーを押します。

スピーカの音量を下げる（fn + f10）

fn + f10 を押してスピーカの音量を下げます。このホットキーを押し続けると、スピーカの音量が一定の割合で徐々に下がります。

スピーカの音量を上げる（fn + f11）

fn + f11 を押してスピーカの音量を上げます。このホットキーを押し続けると、スピーカの音量が一定の割合で徐々に上がります。

9　ドライブ

取り付けられているドライブの確認

デバイスに取り付けられているドライブを表示するには、**[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択します。

ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいデバイス部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** デバイスやドライブの損傷、またはデータの損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したデバイスをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスタンバイを起動して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはデバイスのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、デバイスの電源を切ります。デバイスの電源が切れているのか、スタンバイ状態なのか、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずデバイスの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

別売のオプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、デバイスを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

外付けドライブの使用

外付けのリムーバブル ドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が拡大されます。

USB ドライブには、以下の種類があります。

- 1.44 MB ディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプタを装着したハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ

- DVD+RW/R および CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ

別売の外付けデバイスの使用

注記： 必要なソフトウェアやドライバ、および使用するデバイス本体のコネクタの種類について詳しくは、外付けデバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けデバイスを接続するには、以下の操作を行います。

注意： 電源付きデバイスの接続時に装置が損傷することを防ぐため、デバイスの電源が切れ、電源コードが抜けていることを確認してください。

1. 外付けデバイスを接続します。
2. 電源付きデバイスを接続する場合は、接地した電源コンセントにデバイスの電源コードを差し込みます。
3. デバイスの電源を入れます。

別電源が必要でない外付けデバイスを取り外すときは、外付けデバイスの電源を切り、デバイス本体から取り外します。別電源が必要な外付けデバイスを取り外すときは、外付けデバイスの電源を切り、デバイス本体から取り外した後、外付けデバイスの電源コードを抜きます。

10 メモリ モジュール

デバイスの裏面には、1 基のメモリ モジュール コンパートメントが装備されています。デバイスのメモリを増設するには、メイン メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。

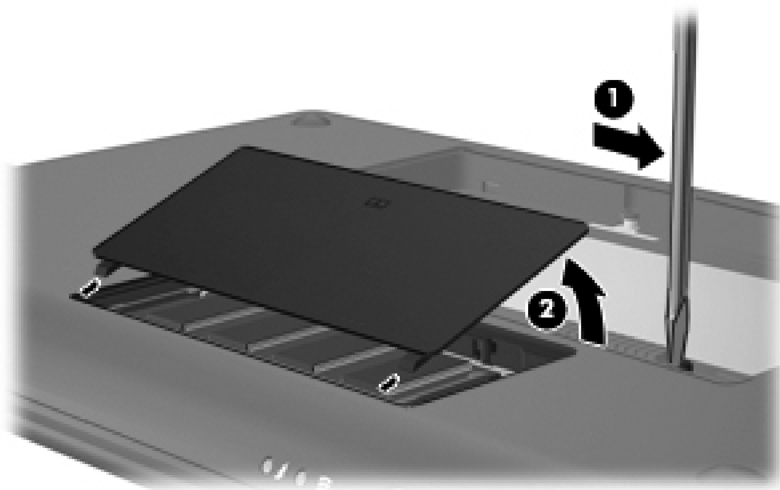
△ **注意：** 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. デバイスをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。

   デバイスの電源が切れているのかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてデバイスの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. デバイスに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、デバイスの電源コネクタから AC アダプタを取り外します。
5. デバイスを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. デバイスからバッテリを取り外します。
7. マイナスのネジ回しまたはその他の先のとがった物を使用して、リリース ラッチをそっと押し、メモリ モジュール コンパートメント カバー（**1**）の固定を解除します。

8. メモリ モジュール コンパートメント カバーを持ち上げて（**2**）デバイスから取り外します。



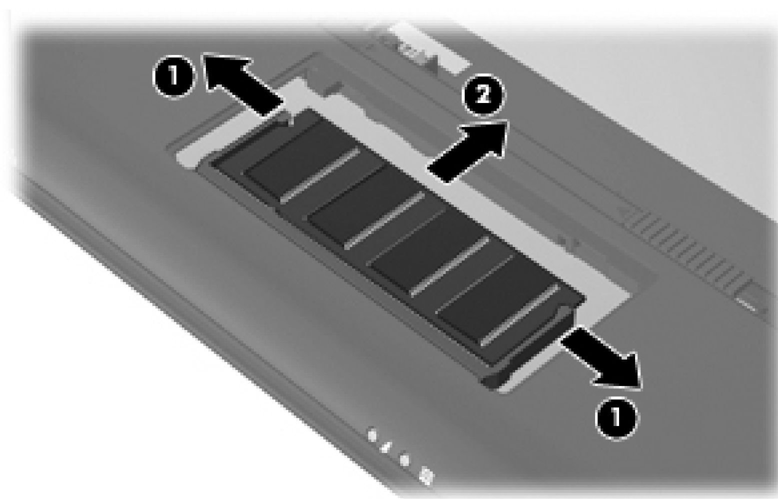
9. 以下の手順に沿って操作し、既存のメモリ モジュールを取り外します。

   a. メモリ モジュールの左右の端の留め具を左右に引っ張ります（**1**）。

      メモリ モジュールが少し上に出てきます。

   △ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、モジュールを持つときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

   b. メモリ モジュールの左右の端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて（**2**）取り外します。



   取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない袋などに入れて保管します。

10. 以下の手順で新しいメモリ モジュールを取り付けます。

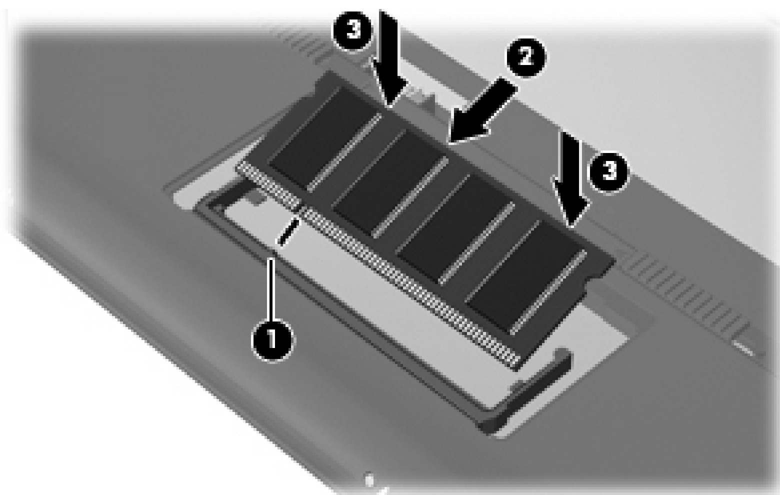
△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、モジュールを持つときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったりメモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロットのタブを合わせます（**1**）。

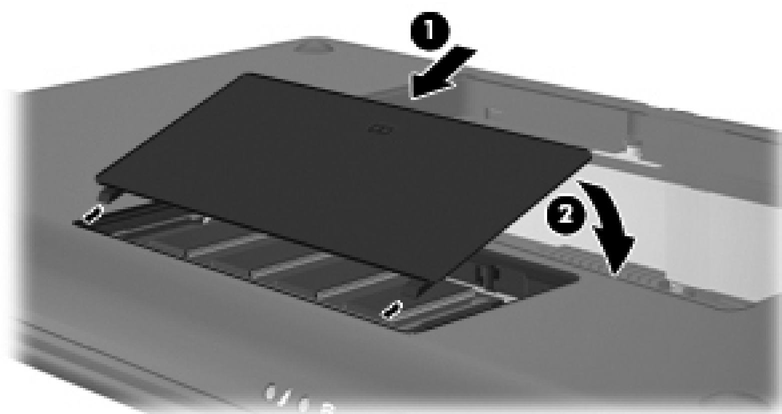
b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます（**2**）。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端を押し下げます（**3**）。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを曲げないでください。



11. メモリ モジュール コンパートメント カバーのタブを、デバイスのくぼみに合わせます（**1**）。
12. カバーを閉じます（**2**）。



13. バッテリを装着しなおします。
14. デバイスのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
15. デバイスの電源を入れます。

11　バックアップおよび復元

情報を保護するために、ファイルとフォルダをバックアップします。システムに障害が発生した場合は、バックアップ ファイルを使用してデバイスを復元できます。

注記：　システムが不安定な場合に備え、復元の手順を印刷し、後で利用できるように保管しておくことをおすすめします。

情報のバックアップ

システムに障害が発生した後に復元が成功するかどうかは、完全にバックアップされたファイルがあるかどうかで決まります。ソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐに初期バックアップを作成してください。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

個々のファイルまたはフォルダを外付けハードドライブ（別売）にバックアップできます。

バックアップが必要な時

- 定期的な間隔
- デバイスを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

バックアップの方法

- 個人ファイルを[マイ ドキュメント]フォルダに保存し、このフォルダを定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショットを撮って保存します。設定値や内容をリセットする必要がある場合、スクリーン ショットを撮っておくと時間を節約できます。

  画面をコピーしてワープロ文書などに貼り付けるには、以下の操作を行います。

  ◦ 保存する画面を表示させます。
  ◦ 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。

    アクティブなウィンドウのみをコピーするには、alt ＋ fn ＋ prt sc キーを押します。

    画面全体をコピーするには、fn ＋ prt sc キーを押します。

  ◦ ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して、**[編集]**→**[貼り付け]**の順にクリックします。

    画面のイメージが文書に追加されます。

  ◦ 文書を保存します。

Windows のバックアップ ユーティリティを使用したバックアップ

Windows のバックアップ ユーティリティを使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。

注記： お使いのデバイスが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

注記： ファイルのサイズやデバイスの処理速度によっては、バックアップ処理に 1 時間以上かかることがあります。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[バックアップ]**の順にクリックします。

   [バックアップまたは復元ウィザード]が表示されます。

2. **[次へ]**をクリックします。
3. **[ファイルと設定のバックアップを作成する]**をクリックしてから、**[次へ]**をクリックします。
4. 画面に表示される説明に沿って操作します。

復元の実行

お使いのデバイスには、システムの障害やシステムが不安定な場合に備え、ファイルを復元する以下の方法が用意されています。

- Windows リカバリ ツール：Windows のバックアップ ユーティリティを使用して、以前バックアップを行った情報を復元できます。
- **オペレーティング システム** ディスクおよび『**Driver Recovery**』（ドライバ リカバリ）ディスク（お使いのデバイスに付属）：これらのディスクを使用して、工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システムとプログラムを復元できます。

情報の復元

以前バックアップした情報を復元するには、以下の操作を行います。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[システム ツール]**→**[バックアップ]**の順にクリックします。

   [バックアップまたは復元ウィザード]が表示されます。
3. **[次へ]**をクリックします。
4. **[ファイルと設定を復元する]**→**[次へ]**の順にクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

オペレーティング システムとプログラムの復元

システムに障害が発生したり、システムが不安定になったりした場合は、デバイスで**オペレーティング システム** ディスクと『**Driver Recovery**』（ドライバ リカバリ）ディスクを使用すると、工場出荷時にインストールされていたオペレーティング システムとプログラムを復元できます。

△ **注意：** 復元プロセスによって、ハードドライブの内容が完全に消去され、再フォーマットされます。デバイス上に作成したすべてのファイルおよびインストールしたすべてのソフトウェアが完全に削除されます。復元プロセスによって、初期状態のオペレーティング システム、ソフトウェア、およびドライバが再インストールされます。工場出荷時にインストールされていなかったソフトウェア、ドライバ、およびアップデートは、手動でインストールする必要があります。

注記： リカバリ ディスクを使用して復元を実行するには、外付けオプティカル ドライブ（別売）が必要になります。

注記： 復元プロセスの完了には数時間かかることがあります。

オペレーティング システムとプログラムを復元するには、以下の操作を行います。

1. 可能であれば、すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. デバイスを起動または再起動してブート順序を変更し、画面の左下隅に[f9 = Change Boot Device Order]というメッセージが表示されている間に、f9 キーを押します。
3. 矢印キーを使用して、USB オプティカル ドライブを選択し、enter キーを押します。
4. 確認のメッセージが表示されたら、enter キーを押します。
5. **オペレーティング システム** ディスクを外付けオプティカル ドライブ（別売）に挿入します。

6. デバイスをシャットダウンします。
7. デバイスの電源を入れます。
8. 画面の説明に沿って操作し、オペレーティング システムをインストールします。
9. オペレーティング システムがインストールされたら、オペレーティング システム ディスクを取り出して、『Driver Recovery』ディスクを挿入します。
10. 画面の説明に沿って操作し、ドライバとプログラムをインストールします。
11. 個人用ファイルを復元します。

12　ソフトウェアの更新

HP の Web サイトから、デバイスに付属するソフトウェアの更新版を入手できます。

HP の Web サイトにあるほとんどのソフトウェアおよび BIOS アップデートは、**SoftPaq** と呼ばれる圧縮ファイルにパッケージ化されています。

ダウンロード パッケージに Readme.txt というファイルが含まれている場合があります。このファイルには、ファイルのインストールとトラブルシューティングに関する情報が記載されています

ソフトウェアを更新するには、このガイドで説明する作業を以下の順序で行います。

1. お使いのモデルのデバイス、製品のカテゴリ、およびシリーズまたはファミリを確認します。デバイスに現在インストールされている BIOS のバージョンを確認して、システム BIOS アップデートを準備します。

   デバイスがネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

   注記：　デバイス システムの BIOS は、システム ROM に格納されます。BIOS は、オペレーティング システムを初期化し、デバイスとハードウェア デバイスとの通信方法を決定し、ハードウェア デバイス間で日付と時刻などのデータを転送します。

2. HP の Web サイト（http://www.hp.com/jp/）の[ドライバ＆ソフトウェア ダウンロード]から、お使いの製品の情報にアクセスします。

3. アップデートをインストールします。

BIOS の更新

BIOS を更新するには、まず現在使用している BIOS のバージョンを確認してから、新しい BIOS をダウンロードしてインストールします。

BIOS のバージョンの確認

利用可能な BIOS アップデートの中に、現在デバイスにインストールされている BIOS よりも新しいバージョンの BIOS があるかどうかを調べるには、現在インストールされているシステム BIOS のバージョンを確認する必要があります。

BIOS バージョン情報（「**ROM 日付**」または「**システム BIOS**」とも呼ばれます）を表示するには、セットアップ ユーティリティを開きます。

BIOS 情報を表示するには、以下の操作を行います。

1. デバイスを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[f10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. セットアップ ユーティリティの起動時にシステム情報が表示されない場合は、矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）メニューを選択します。

   [Main]メニューを選択すると、BIOS およびその他のシステムの情報が表示されます。
3. セットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Discarding Changes]**（変更を保存せずに終了）の順に選択し、enter キーを押します。

BIOS アップデートのダウンロード

△ **注意：** デバイスの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプタを使用した信頼性の高い外部電源にデバイスを接続してください。デバイスがバッテリ電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからデバイスの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

デバイスをシャットダウンしたり、スタンバイやハイバネーションを起動したりしないでください。

デバイス、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。

BIOS アップデートをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. お使いのデバイス用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページにアクセスします。

   [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して最新ソフトウェアを提供するページへのリンクを選択します。

2. 画面の説明に沿ってお使いのデバイスを指定し、ダウンロードする BIOS アップデートにアクセスします。

3. ダウンロード エリアで、以下の操作を行います。

   a. お使いのデバイスに現在インストールされている BIOS のバージョンよりも新しい BIOS を確認します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。

   b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。

   BIOS アップデートをダウンロードする場所へのパスをメモします。このパスは、アップデートをインストールするときに必要です。

   注記： デバイスをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順に選択して、Windows の[エクスプローラ]を開きます。

2. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、[ローカル ディスク（C:)]を指定します。

3. BIOS ソフトウェアをダウンロードした時のメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダを開きます。

4. 拡張子が.exe であるファイル（filename.exe など）をダブルクリックします。

   BIOS のインストールが開始されます。

5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

注記： インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

プログラムとドライバの更新

BIOS アップデート以外のソフトウェアをダウンロードしてインストールするには、以下の操作を行います。

1. お使いのデバイス用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページにアクセスします。

   [スタート]→**[ヘルプとサポート]**の順に選択し、ソフトウェアとドライバのアップデートを選択します。

2. 画面の説明に沿って操作し、アップデートするソフトウェアを見つけます。
3. ダウンロード エリアで、ダウンロードするソフトウェアを選択し、Web ページの説明に沿って操作します。

   注記： ソフトウェアのダウンロード先となるハードドライブ上の場所へのパスを書き留めておいてください。ソフトウェアをインストールするときに、このパスが必要です。

4. ダウンロードが完了したら、**[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択して、Windows の[エクスプローラ]を開きます。
5. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、[ローカル ディスク（C:)]を指定します。
6. メモしておいたハードドライブ パスを使用して、アップデートが格納されているハードドライブのフォルダを開きます。
7. 拡張子が.exe であるファイル（**filename**.exe など）をダブルクリックします。

   インストールが開始されます。

8. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

注記： インストールの成功を報告するメッセージが表示された後、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

13 セットアップ ユーティリティ

セットアップ ユーティリティの開始

セットアップ ユーティリティは ROM ベースのユーティリティで、情報の表示とシステムのカスタマイズを行います。Windows オペレーティング システムが動作しない場合にも使用できます。

ユーティリティはデバイスに関する情報をレポートし、起動、セキュリティ、および他のオプションを設定します。

セットアップ ユーティリティを開始するには、以下の操作を行います。

▲ デバイスを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[f10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。

セットアップ ユーティリティの使用

セットアップ ユーティリティの言語の変更

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの言語を変更する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが起動していない場合、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが起動している場合は、手順 2 から始めます。

1. デバイスを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[f10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[System Configuration]**（システム コンフィギュレーション）→**[Language]**（言語）の順に選択し、enter キーを押します。
3. 矢印キーを使用して言語を選択し、enter キーを押します。
4. 選択した言語を確認するメッセージが表示されたら、enter キーを押します。
5. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更はすぐに有効になります。

セットアップ ユーティリティでの移動および選択

セットアップ ユーティリティは Windows ベースではないため、タッチパッドに対応していません。移動および選択は、キーを押して行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
- 一覧の項目を選択したり、有効/無効などのフィールドを切り替えたりするには、矢印キーを使用するか、f5 キーまたは f6 キーを使用します。
- 項目を選択するには、enter キーを押します。
- テキスト ボックスを閉じたり、メニュー表示に戻ったりするには、esc キーを押します。
- セットアップ ユーティリティの起動中に追加の移動および選択についての情報を表示するには、f1 キーを押します。

システム情報の表示

以下の手順では、セットアップ ユーティリティでシステム情報を表示する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが起動していない場合、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが起動している場合は、手順 2 から始めます。

1. デバイスを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[f10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. **[Main]**（メイン）メニューを選択します。システム時刻と日付などのシステム情報およびデバイスの識別情報が表示されます。
3. 設定を変更しないでセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して、**[Exit]**（終了）→**[Exit Discarding Changes]**（変更を保存せずに終了）の順に選択し、enter キーを押します。

セットアップ ユーティリティでの初期設定の復元

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの初期設定を復元する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが起動していない場合、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが起動している場合は、手順 2 から始めます。

1. デバイスを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[f10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Load Setup Defaults]**（初期設定値をロードする）の順に選択し、enter キーを押します。
3. セットアップの確認が表示されたら、enter キーを押します。
4. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

セットアップ ユーティリティの初期設定値は、デバイスを再起動したときに有効になります。

注記：　出荷時設定に戻しても、パスワード、セキュリティ、および言語の設定は変更されません。

セットアップ ユーティリティの終了

変更を保存または保存しないでセットアップ ユーティリティを終了できます。

- 現在のセッションからの変更内容を保存して、セットアップ ユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

  セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、esc キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了する）の順に選択し、enter キーを押します。

- 現在のセッションからの変更内容を保存しないで、セットアップ ユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

  セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、esc キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]→[Exit Discarding Changes]**（変更を保存せずに終了）の順に選択し、enter キーを押します。

どちらかを選択すると、デバイスが再起動され Windows が起動します。

セットアップ ユーティリティのメニュー

次のメニュー一覧に、セットアップ ユーティリティのオプションの概要を示します。

注記： この章に記載されているセットアップ ユーティリティの一部のメニュー項目は、お使いのデバイスでは使用できない場合があります。

[Main]（メイン）メニュー

オプション	設定内容
System information（システム情報）	• システム時刻および日付を表示したり変更したりします • デバイス識別情報を表示します • プロセッサ、メモリ サイズ、およびシステム BIOS の仕様情報を表示します

[Security]（セキュリティ）メニュー

オプション	設定内容
Administrator Password（管理者パスワード）	管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-On Password（電源投入時パスワード）	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します

[System Configuration]（詳細設定）メニュー

オプション	設定内容
Language Support（対応言語）	セットアップ ユーティリティの言語を変更します

オプション	設定内容
Processor C4 State（プロセッサ C4 の状態）	プロセッサ C4 のスリープ状態を有効/無効にします
Boot Options（ブート オプション）	以下のブート オプションを設定します ● f10and f12 Delay (sec.)（f10 および f12 の遅延（秒））：セットアップ ユーティリティの f10 および f12 機能の遅延（キー入力を待つ時間）を、5 秒間隔（0、5、10、15、20）で設定します ● Internal Network Adapter boot（内蔵ネットワーク アダプタ ブート）：内蔵ネットワーク アダプタからのブートを有効/無効にします ● Boot Order（ブート順序）：以下のブート順序を設定します ◦ 内蔵ハードドライブ（一部のモデルのみ） ◦ USB フロッピー ◦ USB CD/DVD ROM ドライブ ◦ USB メモリ上のドライブ ◦ USB ハードドライブ ◦ USB カード リーダー ◦ ネットワーク アダプタ 注記： ブート順序のメニューには、システムに取り付けられているデバイスのみが表示されます

[Diagnostics]（診断）メニュー

オプション	設定内容
Hard Disk Self Test（ハードドライブ セルフテスト）（一部のモデルのみ）	ハードドライブの総合的な自己診断を実行します
Memory Test（メモリ テスト）	システム メモリの診断テストを実行します

索引